

2019 年度 若手・女性研究者奨励金 公募要領

1. 趣旨

若手・女性研究者奨励金は、私立大学、短期大学、高等専門学校（以下、「私立大学等」という。）が取り組む多様で特色ある研究について、次世代の担い手となる若手研究者や女性研究者の育成を目的として、研究に取り組む機会の更なる提供を図るため、研究奨励金を配付するものです。助教やポスト・ドクターの職にある研究者が自ら取り組む研究に対し、これまでの研究実績によらず、研究の着眼点や独創性、発展性といった視点から審査を行い、配付するものです。

この若手・女性研究者奨励金は「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」の二つの奨励金で構成しており、「若手研究者奨励金」は、特に若手研究者の研究意欲の向上を図り、若手研究者の活躍促進に寄与することで、研究者の人材育成を図ることを目的としています。

また、「女性研究者奨励金」は、次世代を担う多様な研究者の人材育成を図るという観点から、特に女性研究者の活躍を促進するための研究奨励金を配付する事業です。これまで出産や育児等、様々な事情によりその能力を十分に発揮する機会が得られなかった状況が存在することを勘案し、幅広い年齢層の女性研究者に対して研究機会の提供を図ることとしています。

2. 奨励金の種類、応募数

(1) 本奨励金は、①「若手研究者奨励金」及び②「女性研究者奨励金」の 2 種類です。

(2) 各学校ごとに①、②のそれぞれに対して各 1 件の応募が可能です。

※ 同一法人が複数の私立大学等を設置している場合は、各学校ごとに①、②のそれぞれに対して各 1 件の応募が可能です。

(3) 同一者が①、②の両方に応募をすることはできません。①、②の両方に該当する場合（3. 対象研究者等を参照）は、①、②のどちらか一方を選択の上、応募してください。

(4) 2019 年度の公募においては、私学事業団が実施している「若手・女性研究者奨励金 寄付金付き自動販売機」の設置にご協力いただいた「寄付者（協力者）御礼」として、①、②のいずれかにつきまして、応募を 1 件追加することができます。

なお、複数の私立大学等を設置している場合、「寄付金付き自販機」を設置している場所にかかわらず、「寄付金付き自販機」の設置台数 1 台につき 1 学校に応募枠 1 件の追加となりますので、法人内における設置台数をご確認ください。

〔例・A 大学、B 大学、C 短期大学の 3 校を設置する学校法人が「寄付金付き自販機」を 2 台設置していただいている場合、3 校のうち 2 校に応募枠 1 件の追加ができます。1 校に応募枠を 2 件追加することはできません。〕

3. 対象研究者等

次の要件をすべて満たすことが必要です。

① 若手研究者奨励金

- (1) 当該私立大学等に所属する、2019（平成31）年4月1日現在39歳以下（昭和54年4月2日以降に生まれた者）で、2018（平成30）年10月1日現在、助教又はポスト・ドクターの職にある者が1人で行う研究であること。なお、今回より一部の講師も対象とします。〔※注1〕
- (2) 当該私立大学等に採用され、原則として、
 - ◇ 助教にあつては、本務教員給を支給されている者
 - ◇ ポスト・ドクターにあつては、私立大学等経常費補助金の加算の対象となる者〔※注2〕
 - ◇ 講師にあつては、本務教員給を支給され、研究に取り組む者であつて、2018（平成30）年4月1日現在、当該法人に講師として採用されて10年以内（産休、育休の期間を除く。）の者。
ただし、医歯薬学部に所属する者からの応募については、助教またはポスト・ドクターに限ります。
- (3) 2018（平成30）年10月1日現在、科学研究費補助金（基金分を含む）に、新規・継続にかかわらず採択されていない者（研究分担者を含む）
- (4) 2018（平成30）年10月1日現在、日本学術振興会特別研究員ではない者
- (5) これまで同じ研究課題で若手・女性研究者奨励金に採択されていない者

② 女性研究者奨励金

- (1) 当該私立大学等に所属する、2018（平成30）年10月1日現在、助教又はポスト・ドクターの職にある女性が1人で行う研究であること。なお、今回より一部の講師も対象とします。〔※注1〕
- (2) 当該私立大学等に採用され、原則として、
 - ◇ 助教にあつては、本務教員給を支給されている者
 - ◇ ポスト・ドクターにあつては、私立大学等経常費補助金の加算の対象となる者〔※注2〕
 - ◇ 講師にあつては、本務教員給を支給され、研究に取り組む者であつて、2018（平成30）年4月1日現在、当該法人に講師として採用されて10年以内（産休、育休の期間を除く。）の者。
ただし、医歯薬学部に所属する者からの応募については、助教またはポスト・ドクターに限ります。
- (3) 2018（平成30）年10月1日現在、科学研究費補助金（基金分を含む）に、新規・継続にかかわらず採択されていない者（研究分担者を含む）
- (4) 2018（平成30）年10月1日現在、日本学術振興会特別研究員ではない者
- (5) これまで同じ研究課題で若手・女性研究者奨励金に採択されていない者

〔※注1〕応募後に職位に変更があった場合は、必ず私学事業団にご連絡ください。研究者の人材育成を図る本奨励金の趣旨から、採択を取り消しとさせていただく場合があります。

〔※注2〕ポスト・ドクターの要件について、具体的には次のとおりです。

兼務職員給を支給されている者で、下記のア、イのいずれかの要件及びウの要件を満たしていること。

ア．博士の学位を取得した者

イ．人文・社会科学系の分野にあつては、当該年度の前年度までに博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、当該年度の4月1日現在大学院に在籍していない者で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者

ウ．雇用等に係る規程が整備されていること

4．対象となる研究の分野

対象となる分野の限定はいたしません。（すべての分野を対象とします）

5．研究期間（2019年度の研究）

2019（平成31）年4月1日から2020年3月31日までにを行う研究とします。

6．配付する奨励金の総額

2019年度に配付する奨励金総額は約2,500万円（予定）、一人当たりの配付額は**40万円**を予定しています。

7．提出書類等

応募は、研究者個人ではなく学校法人として行ってください。

下記の(1)～(3)の様式については、私学事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2019年度 公募様式等」）からそれぞれ取得してください。

(1) 2019年度 若手研究者奨励金 研究計画調書（様式1～2-3：若手）

（又は2019年度 女性研究者奨励金 研究計画調書（様式1～2-3：女性））

(2) 事務担当者名簿

(3) 応募書類記入チェックリスト

※各書類の提出については、5頁の「14. 提出方法」をご覧ください。

8. 奨励金の配付

本奨励金は、学校法人に当該研究者の研究に対する奨励金として配付します。当該研究に直接係る経費として使用できますが、当該研究以外への使用や架空取引等の不適切な使用とならないよう、使途については、学校法人の十分な管理をお願いします。

奨励金の不適切な使用が行われた場合は、奨励金の返還や応募資格の停止など、厳正な措置をとることになりますので、ご注意ください。

詳細は、私学事業団ホームページの助成業務「学術研究振興資金」(http://www.shigaku.go.jp/s_shikin_menu.htm) から、『若手・女性研究者奨励金の不適切な使用等が行われた場合における取扱い』をご覧ください。

9. 審査方法

提出された研究計画調書をもとに、審査を行い、① 研究の特色・独創性、② 研究計画・方法、③ 将来性・成長性 等の観点を重視し、研究計画の妥当性や実現性よりも、①～③を重視したうえで総合的に評価し、若手・女性研究者奨励金選考委員会における審議のうえ、決定します。

なお、本奨励金は多様な研究者の育成を図ることを目的としていることから、研究者の略歴や、これまでの研究業績は審査の要件にしておりません。より特色あるチャレンジングな研究を支援していきたいと考えております。

10. 採択の内定時期

採択・不採択の通知につきましては、2019（平成 31）年 3 月上旬に当該学校法人に送付します。

なお、若手・女性研究者奨励金選考委員会における選考結果につきましては、研究者宛に同時に通知します。

11. 奨励金の配付の時期

2019 年 5 月下旬を予定しています。

12. 会計処理

奨励金の配付が決定した場合は、2019（平成 31）年度の予算書及び計算書類において、大科目「補助金（収入）」に小科目「若手・女性研究者奨励金（収入）」を設けて当該金額を計上してください。

13. 実績報告

奨励金の配付を受けた場合、2019 年度決算終了後に、「実績報告書」を私学事業団に提出していただきます。提出時期・様式等については、2020 年 5 月下旬に改めて通知します。

14. 提出方法

様式1～様式2-3、事務担当者名簿及び応募書類記入チェックリストの電子ファイルを私学事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2019年度 公募様式等」）へ様式ごとに提出してください。

必ず、電子窓口の上記のフォルダから取得した様式の電子ファイルに記入を行ったうえで、提出してください。

※ 以下に該当する場合は、提出の際にご注意ください。

① 同一法人で複数件の応募をする場合

電子窓口は、奨励金種類ごとに、法人単位での提出となります。同一法人で「若手研究者奨励金」（または「女性研究者奨励金」）を複数件応募する場合には、必ずそれぞれのファイル形式ごとに1法人1ファイルにまとめた電子ファイルを提出してください。（次ページもご参照ください）

また、電子ファイルの様式がエクセル形式のものについては、シートをコピーし、シート名に学校名または研究者名を付してください。不要なシートはファイルに残さないよう、ご注意ください。

なお、上記の取りまとめが困難な場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

② 訂正等で再提出する場合

電子窓口は、一度電子ファイルを提出した後に訂正等で再提出するとデータが上書きされてしまいます。再提出する場合は、必ず下記の問い合わせ先までご連絡ください。

○ **提出期限** 2018（平成30）年10月31日（水曜日）【必着】

○ **提出先** 私学事業団電子窓口

○ **問い合わせ先**

助成部寄付金課 TEL 03（3230）7319・7317

FAX 03（3230）8223

E-mail kifukin@shigaku.go.jp

同一法人が若手研究者奨励金を複数件応募する場合、または
女性研究者奨励金を複数件応募する場合の研究計画調書等の作成について

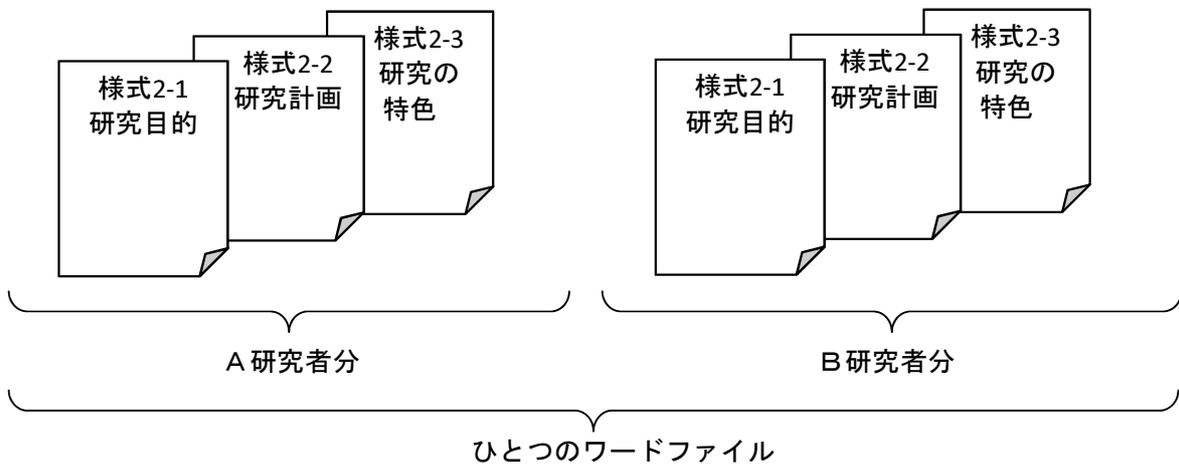
電子窓口は、法人単位で電子ファイル様式ごとの提出となります。

同一法人で複数の研究者が応募をする場合は、
電子ファイル様式ごとに法人で1つに取りまとめてください。

※「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」は、それぞれ別のファイルとなります。

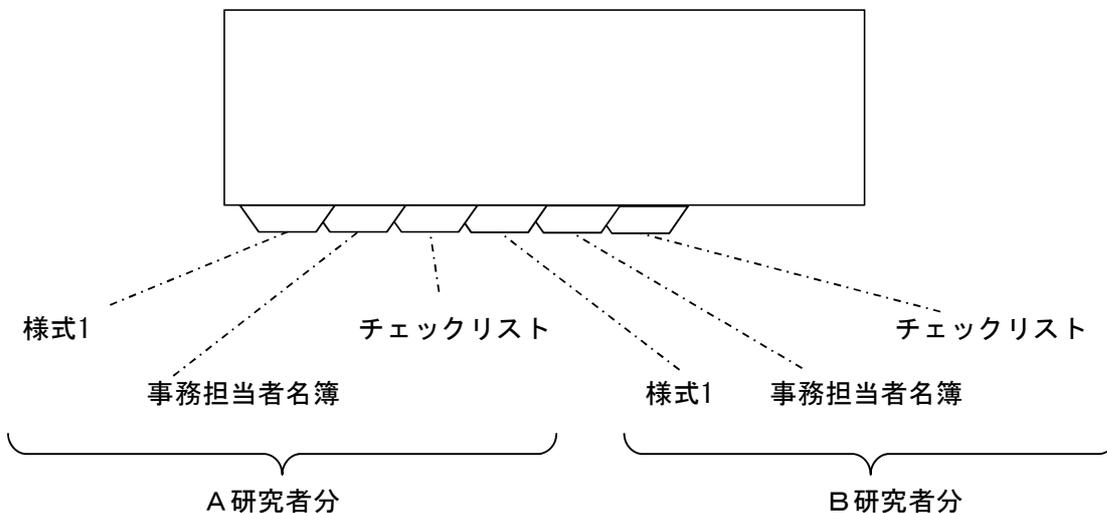
●ワード形式のファイル

複数の研究者の申請書一式をそれぞれ作成し、つなげて一つのファイルとしてください。
なお、ページ番号は付さないでください。



●エクセル形式のファイル

シートをコピーし、シート名に学校名または研究者名を付してください。



若手・女性研究者奨励金 研究計画調書記入要領

※「若手研究者奨励金」「女性研究者奨励金」共通の記入要領です。

※「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」とで、それぞれ別々に様式を取得、作成し、提出してください。

※提出に当たっては、私学事業団電子窓口を利用してください。

※提出書類となる以下の様式等は、私学事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2019年度公募様式等」）から取得してください。

※公募等に係るQ&Aも掲載します。併せてご参照ください。

※ライフサイエンスに関する研究については、法令、指針等で必要な手続きが定められています。12頁の別紙を参照してください。

○ 研究計画調書

（様式1）

※記入欄に初期設定されているフォント、サイズ（MS明朝、11ポイント又は12ポイント）で記入してください。なお、文字数の関係で枠に収まらない場合はフォントサイズを下げて構いません。

1. 研究者の基本事項

① 学校名、所属学部等

2018（平成30）年10月1日現在の、研究者が所属する私立大学等名、及び研究者が所属する研究科名・学部等名を記入してください。

② 職名、年数

2018（平成30）年10月1日現在の、研究者の職名を記入してください。講師の場合のみ、当該学校法人に講師として採用されて現在何年目であるか記入してください。助教、ポスト・ドクターについては、年数の記入は不要です。

なお、年数の計算においては、産休、育休の期間を除外してください。

③ 性別

「男」又は「女」と記入してください。なお、「女性研究者奨励金」については、女性のための応募となります。

④ 氏名、生年月日

研究者の氏名、フリガナ及び生年月日を記入してください。

なお、生年月日を入力すると、「年齢」欄に2018年10月1日時点の年齢が自動表示されます。

2. 研究者の基本事項

① 研究課題（副題）

研究課題は **30字以内**とし、補足が必要な場合は20字以内で副題をつけてください。

② 研究区分等

13頁の「若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表」から選択して記入してください。

原則として、選択された「審査系」により、審査を行います。

(ア) 「審査系」は、別表1の審査部門別系の中から、希望する「審査系」を選んでいただき、その系に「レ」を入力してください。

(イ) 「審査系」は4つの中から2つまで選択できます（1つでも可です）。

(ウ) 当該研究課題がその「審査系」にあたると思われる理由やその「審査系」での応募がふさわしいと考える理由（又はその「審査系」で審査を受けたい理由）を記してください。なお、本項目も、審査・選考に当たっての要素となります。

(エ) 「研究分科」については、審査の際の参考とします。別表2応募研究別分科表から、それぞれ研究課題の該当するものを1つ記入してください。応募する研究課題が、複数の分科にまたがる場合は、当該研究に占める割合が最も多い分科を1つ選択し、記入してください。

3. 2019年度奨励金（40万円）の主な使用予定

奨励金が配付された場合、当該研究に係る経費として使用したいと考える主なものについて、具体的に記入してください。

(例：学会出席旅費、実験用備品購入、パソコンソフト購入、書籍購入、等)
金額は概算で、**千円未満を切り捨てて記入**してください。

※奨励金は、当該研究者の行う **当該研究に係るものみに使用**できます。

(様式 2-1)

※MS 明朝・11 ポイント、1,500 字程度で枠内に収まるよう記入してください（ページは増やせません）。

※強調したい部分にアンダーラインを付したり、図や表の挿入も可能です。ただし、カラー表示につきましては、審査に付される際には公平性の観点から全てグレースケールでモノクロ印刷されたものになりますので、ご了承ください。

※当該研究者が 1 人で行う研究が本奨励金の対象となりますので、記入に際してご注意ください。

※審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。「研究目的」の本文において、所属学校名等が明らかにならないようにしてください。

研究目的

審査においては、研究に対する意欲を感じる内容であるか、自らが将来取り組もうとする研究に発展させることを見据えた内容であるか、当該研究を実施する意義を明確にしているかななどを重視します。

どのような動機から当該研究に取り込むことにしたのか、また、どのような問題意識を持って、何をどこまで明らかにしようとするのかが分かるように焦点をしぼり、具体的に記入してください。

なお、生命倫理・安全対策の観点から法令等に基づく手続きが必要な研究を扱う場合は、学内の委員会等の手続きについて記入してください。

(例えば、「〇年〇月〇日 学内倫理審査委員会において承認」など。)

(様式 2-2)

※MS 明朝・11 ポイントで記入し、概要を 600 字以内、具体的な説明を 2,000 字程度で 2 ページ以内に収めてください。2 ページ目を作成の際は、ページ毎に学校名等の欄を設けて記入してください。

※強調したい部分にアンダーラインを付したり、図や表の挿入も可能です。ただし、カラー表示につきましては、審査に付される際には公平性の観点から全てグレースケールでモノクロ印刷されたものになりますので、ご了承ください。

※当該研究者が 1 人で行う研究が交付対象となりますので、記入に際してご注意ください。

※審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。「研究計画・方法」の本文において、所属学校名等が明らかにならないようにしてください。

研究計画・方法

当該研究目的を達成するための研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、2019年度の計画を具体的に記入してください。

なお、計画の記入に当たっては、1年間という限られた期間の中で、申請者自らが何をどこまで明らかにするか、期待される研究成果等を含めて記入してください。

(様式 2-3)

※MS 明朝・11ポイント、2,000字程度で枠内に収まるよう記入してください（ページは増やせません）。

※強調したい部分にアンダーラインを付したり、図や表の挿入も可能です。ただし、カラー表示につきましては、審査に付される際には公平性の観点から全てグレースケールでモノクロ印刷されたものになりますので、ご了承ください。

※当該研究者が 1人で行う研究が交付対象となりますので、記入に際してご注意ください。

※審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。「研究の特色、独創性」の本文において、所属学校名等が明らかにならないようにしてください。

研究の特色、独創性

審査においては、研究内容や構想に独創性や新規性があるか、研究の結果が既成概念に影響を与える可能性があるか、または社会に役立つ価値・技術等を生み出す可能性があるかなどを、特に重視します。

当該研究の特色や、研究方法の独創性等について、わかりやすく工夫して記入してください。

例えば、当該研究にどのような特色があり、どのように独創的なのか、従来の研究とは目的や方法にどのような違いがあるものなのか（従来に補足されるのか、あるいは新たな組み立てがあるのか）等を詳しく記入してください。

また、今回の研究遂行後、どのように研究を発展させていくのか、将来的な見通しがあれば記入してください。

その他、当該研究はどのようにチャレンジングな研究なのか等、研究に関するアピールを記入してください。

○ 事務担当者名簿

本事業団から問い合わせをする必要がある場合に対応のできる事務職員のかたの氏名、連絡先電話番号等を記入してください。

○ 応募書類 記入チェックリスト

記入誤り等の多い事項について、チェック項目としてまとめてあります。記入等の誤りがないか、提出前の最終的な確認をしてください。

○ 提出期限 2018（平成30）年10月31日（水曜日）【必着】

○ 提出先 私学事業団電子窓口

生命倫理・安全に係る指針等について

ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理・安全対策の観点から法令や指針等により必要な手続き（機関内の倫理審査委員会の承認等）が定められていますので、この法令等を遵守し、適切に研究を実施してください。

法令等による必要な手続きなど、詳細な情報は以下を参照してください。

- 文部科学省ホームページ「生命倫理・安全に対する取組」
(<http://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html>)

- 文部科学省ホームページ「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」
(<http://www.lifescience.mext.go.jp/policies/dobutsu.html>)

なお、法令・指針に違反して研究が実施されていることが判明した場合、資金の交付を取り消すことがありますので、留意してください。

※ 生命倫理・安全対策の観点から手続きを必要とする研究分野を扱う場合は、「研究計画調書」の（様式 2-1）「研究目的」欄に、学内の委員会等の手続きについて記入してください。（例えば、「〇年〇月〇日 学内倫理審査委員会において承認」など。）

若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表

別表1 審査部門別系

人文・社会科学系
理工系
生物学系、農学系
医歯薬学系

注:「別表1 審査部門別系」は、若手・女性研究者奨励金の審査・選考に当たっての分類に使用するものです。
 なお、応募に当たっては「審査部門別系」は2つまで選択することができます。(1つでも可です)

別表2 応募研究別分科表

地域研究	教育学	総合工学	材料工学
ジェンダー	法学	生産環境農学	プロセス・化学工学
観光学	政治学	農芸化学	社会・安全システム科学
哲学	経済学	森林圏科学	健康・スポーツ科学
芸術学	経営学	水圏応用科学	生体分子科学
文化人類学	子ども学	社会経済農学	情報学基礎
史学	デザイン学	農業工学	計算基盤
人文地理学	科学社会学・科学技術史	動物生命科学	人間情報学
文学	文化財科学・博物館学	境界農学	情報学フロンティア
言語学	地理学	生活科学	環境解析学
心理学	科学教育・教育工学	神経科学	環境保全学
社会学	ナノ・マイクロ科学	実験動物学	環境創成学
数学	応用物理学	腫瘍学	社会医学
天文学	量子ビーム科学	ゲノム科学	内科系臨床医学
物理学	計算科学	生物資源保全学	外科系臨床医学
地球惑星科学	機械工学	基礎生物学	菌学
プラズマ科学	電気電子工学	生物科学	薬学
基礎化学	土木工学	人類学	看護学
複合化学	建築学	基礎医学	脳科学
	材料化学	境界医学	人間医工学

記入例

2019年度 X X 研究者奨励金

研究計画調書

所属、職名等は、2018年10月1日時点のものを記入してください。

講師の場合のみ、当該法人において講師として採用されて何年目であるかを、記入してください。(年数の計算においては、産休、育休の期間を除外してください)

「男」または「女」と記入してください。なお、女性研究者奨励金の応募は女性に限ります。

1. 研究者の基本事項

学校法人番号	131999	学校法人名	東西学園		
学校名	東西大学				
所属学部等	○◇学部	職名	助教	性別	男
		年数	—		
フリガナ	ナンボク タロウ	生年月日 (和暦)	昭和55年12月15日	年齢	37歳
氏名	南北 太郎				

1980/12/15 または S55.12.15 のように入力すると、自動的に和暦で表示されます。

生年月日を入力すると2018年10月1日時点の年齢が自動表示されます。

2. 研究課題等

研究課題 (副題)	○○の××に関する研究 (△△△のための基礎研究)				
研究区分等	審査系	人文・社会科学系	レ 理工系	生物学系、農学系	医歯薬学系
	選択理由	○○○○・・・ ・・・		希望する審査系に「レ」を入力してください。2つまで選択できます(1つでも可です)。	
	※審査系については、11頁の別表1「若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表」の4つの系から、2つまで選択できます(1つでも可)。 ※研究課題がその系での応募がふさわしいと考える理由を記してください。 なお、本項目も審査・選考にあたっての要素となります。				
研究分科	複合化学	※研究分科については11頁の別表2「若手・女性研究者奨励金 応募研究別分科表」の研究分科より選択してください。			

研究課題は30字以内、副題は20字以内としてください。(副題は無しでも構いません)

審査系を選択した理由を必ず記入してください。

3. 2019年度奨励金の主な使用予定

使用内容	金額 (円)	使用内容	金額 (円)
○○解析装置	150,000	書籍購入費	50,000
実験用試薬 (○○他)	120,000	消耗品費	30,000
学会参加旅費	50,000	合計	400,000 円

当該研究にかかる経費として使用したいと考える主なものについて、具体的に記入してください。

金額は概算で、千円未満を切り捨てて記入してください。また、合計が40万円となるようにしてください。

研究目的 ~どのような動機で、どのような問題意識で、何をどこまで明らかにしようとするかについて

○○○

MS 明朝、11 ポイントで、1,500 字程度（枠内）で記入してください。
枠の大きさは変更しないでください（ページは増やせません）。

審査においては、研究に対する意欲を感じる内容であるか、自らが将来取り組もうとする研究に発展させることを見据えた内容であるか、当該研究を実施する意義を明確にしているかなどを重視します。

どのような動機から当該研究に取り込むことにしたのか、また、どのような問題意識を持って、何をどこまで明らかにしようとするのかが分かるように焦点をしぼり、具体的に記入してください。

なお、生命倫理・安全対策の観点から法令等に基づく手続きが必要な研究を扱う場合は、学内の委員会等の手続きについて記入してください。
(例えば、「〇年〇月〇日 学内倫理審査委員会において承認」など)

審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。
本文において、所属の学校名等が明らかにならないようにしてください。

法人番号 131999	学校法人名 東西学園	学校名 東西大学	研究者名 南北 太郎
----------------	---------------	-------------	---------------

記入例

MS 明朝、11 ポイントで記入し、概要を含めて全体で 2 ページ以内に収めてください。

(様式 2-2 : XX)

研究計画・方法 ~当該研究の目的を達成するための研究計画・方法、期待される成果等

研究計画・方法 (概要)

※研究目的を達成するための研究計画・方法について簡潔にまとめて記述してください。

〇〇〇.

当該研究目的を達成するための、2019 年度の研究計画・方法について、その概要を 600 字以内に簡潔にまとめて記入してください。

研究計画・方法 (以下、具体的に)

〇〇〇.

当該研究目的を達成するための、2019 年度の研究計画・方法について、1 年間で申請者自らが何をどこまで明らかにするのか、期待される研究成果等を含めて、具体的に 2,000 字程度で記入してください。
なお、当該研究者が 1 人で行う研究が対象となりますので、特に本文中の主語が複数形 (我々は…、本研究グループでは…、等) にならないよう、ご注意ください。

審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。
本文において、所属の学校名等が明らかにならないようにしてください。

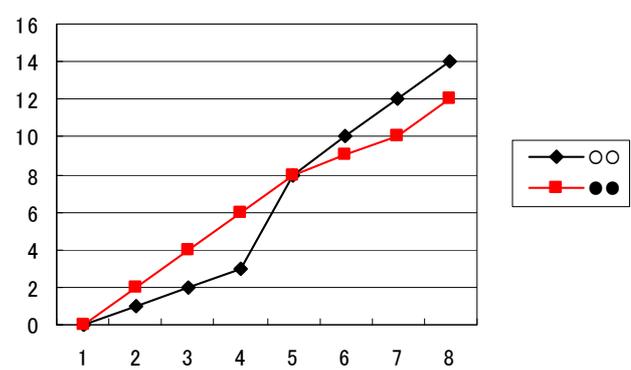


図1 〇〇〇

図や表の挿入も可能ですが、カラー表示につきましては、審査に付される際には全てグレースケールでモノクロ印刷されたものになります。

2 ページ目を作成の際は、学校名等の枠を両ページに設けて記入してください。

法人番号 131999	学校法人名 東西学園	学校名 東西大学	研究者名 南北 太郎
----------------	---------------	-------------	---------------

研究の特色、独創性 ～当該研究の特色、独創性、発展性、その他当該研究に関するアピール

○○○

MS 明朝、11 ポイントで、2,000 字程度（枠内）で記入してください。
枠の大きさは変更しないでください（ページは増やせません）。

審査においては、研究内容や構想に独創性や新規性があるか、研究の結果が既存概念に影響を与える可能性があるか、または社会に役立つ価値・技術等を生み出す可能性があるかなどを、特に重視します。
当該研究の特色や、研究方法の独創性等について、わかりやすく工夫して記入してください。
例えば、当該研究にどのような特色があり、どのように独創的なのか。従来の研究とは目的や方法にどのような違いがあるものなのか（従来に補足されるのか、あるいは新たな組み立てがあるのか）等を詳しく記入してください。
また、今回の研究遂行後、どのように研究を発展させていくのか、将来的な見通しがあれば併せて記入してください。

その他、当該研究はどのようにチャレンジングな研究なのか等、研究に関するアピールを記入してください。

審査に当たっては、下部の学校名等の欄を隠して行います。
本文において、所属の学校名等が明らかにならないようにしてください。

法人番号 131999	学校法人名 東西学園	学校名 東西大学	研究者名 南北 太郎
----------------	---------------	-------------	---------------

記入例

2019年度 XX研究者奨励金 事務担当者名簿

法人番号	131999	フリガナ	トウザイガクエン
		学校法人名	東西学園
学校法人本部所在地	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-900		
学校法人連絡先住所	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-990		

フリガナ	トウザイダイガク
学校名	東西大学
学校連絡先住所	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-999

事務担当者 (今回の応募について、私学事業団からの問い合わせに対応・説明のできる事務職員の方)

所属課・役職等	氏名(フリガナ)	連絡先	
研究支援課 課長	トウザイ イチロウ	TEL	03-3230-7319
	東西 一郎	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	touzai@touzai-u.ac.jp
所属課・役職等	氏名(フリガナ)	連絡先	
研究支援課 第一係長	シガク ジロウ	TEL	03-3230-7320
	私学 二郎	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	shigaku@touzai-u.ac.jp
所属課・役職等	氏名(フリガナ)	連絡先	
総務課 総務係 職員	ショウレイ サブロウ	TEL	03-3230-1321
	奨励 三郎	FAX	03-3230-1325
		E-Mail	shourei@touzai-u.ac.jp